



松本栄一 議員  
(創政会)

### 問 防犯灯のLED化

市内の防犯灯のLED化は、25年度末で109基、市全体の3%と聞かすが、現在の設置状況は。駅周辺などの市街地では、相当進んでいるが、菫莪・大山地域は遅れている。農作物などへの影響を配慮しつつ通学路・生活道路に設置のスピードアップを図れないか。

### 答 地域の実情に沿ったLED化を進める

30年2月1日現在、LED防犯灯は784基で、防犯灯全体の21.5%を占めている。防犯灯のLED化に当たっては、住民生活や農作物への影響を考慮する必要があるため、行政区長の皆様と連携を取り、地域の実情に沿ったLED化を進めていく。

### 問 都市計画道路の整備状況と路線の見直し

白岡駅西口線および白岡宮代線の整備が進行中だが、他の路線も含めた進捗状況は。白岡宮代線の整備は県道春日部菫蒲線まで進行中だが、その先は第5次総合振興計画では将来検討の主要道路としてある。菫莪地区の活性化となる白岡宮代線の延伸の見通しは。

### 答 事業化路線の早期完成に努める

白岡市内における都市計画道路は、約70%が整備済である。現在、事業中路線の早期完成が最優先と考える。白岡宮代線延伸は、ルート選定などの諸課題について宮代町と十分な連携をとる必要があり、今後は延伸計画に向けた調整を図っていく。



整備中の白岡宮代線



斎藤信治 議員  
(開白会)

### 問 隠れた障がい者の把握と支援

最近、発達障がいや学習障がいなどが報道されるようになった。しかし、まだ十分知られていない。本人や周囲も気づかず困難を抱えている方も多い。教職員・民生委員・ケースワーカーなどに、障がいを理解してもらい、早期に発見し福祉サービスに繋がられないか。

### 答 現状を把握し必要な支援を実施していく

乳幼児期・学齢期・就労した後などさまざまな機会を捉え、関係者からの相談や情報などから、障がい者が疑われ、支援を必要とするかたの把握に努め、適切な支援を実施していく。また、「障がいの理解」について、市民や関係者などへ周知・啓発を行っていく。

### 問 ジャンパー事件に見る生活保護の状況

28年1月の小田原市ジャンパー事件で明らかになった問題は、当市でも起こりうる。生活保護利用者の尊厳を尊重しつつ、利用者に寄り添った対応をしているか。保護の外で困難を抱えている人々と積極的に接触し福祉サービスに繋がっていきける体制を作れないか。

### 答 支援体制の充実を図る

生活保護担当職員の育成を積極的に行い相談者や被保護者の置かれている状況を的確に把握し、適正な制度運営ができるよう努めている。また、さまざまな関係機関と連携を図り、生活困窮者を早期発見し、訪問相談を含めた包括的支援を行っていく。

